

第5回学校運営協議会次第

令和6年3月21日（木）13:00～

図書室

司会：相澤教頭

1 開会

2 あいさつ 校長 鈴木 香織

3 来年度の学校経営方針（案）について（校長）

4 協議

○来年度の学校経営方針（案）について

○来年度の年間行事予定について

○学年職員（1～2名）と情報交換

○質疑・応答

など

5 閉会

来年度の日程について（教頭）

令和6年度 学校経営方針（案）

朝霞市立朝霞第五中学校長

鈴木 香織

【学校教育目標】

- ①進んで学習する生徒（知）
- ②人の気持ちがわかる生徒（徳）
- ③自ら体を鍛える生徒（体）

- ① 進んで学習する生徒（知）
 - 「主体的・対話的で深い学び」の実現
 - 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現
- ② 人の気持ちがわかる生徒（徳）
 - 多様な他者と協働する力の育成
 - 自他の生命の尊重
 - 公共の精神の育成
- ③ 自らの体を鍛える生徒（体）
 - 体力の向上
 - 困難を乗り越え、ものごとを成し遂げる力の育成
 - 規範意識の向上
 - 防災・安全意識の向上

【目指す学校像】

生徒一人一人のよさや可能性を伸ばす学校

- ① 個別最適な学び→多様な生徒たちを誰一人取り残すことなく、資質・能力を育成する。
生徒の実態・学習状況をきめ細かく把握すると同時に、主体的に学習を調整できるように促す。
 - 指導の個別化
 - ・支援が必要な生徒への重点的な指導
 - ・個に応じた指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定
 - ・多様な学びの機会の設定
 - 学習の個別化
 - ・生徒一人一人の興味・関心に応じた異なる目標に向けて学習を深め広げる活動
 - ・生徒自身で学習が最適となるよう調整する活動
- ② 協働的な学び→子供たちの多様な個性を最大限に生かす。
孤立した学びにならないようにし、他者を価値ある存在として尊重できるようにする。
 - ・生徒一人一人のよさや可能性を活かす活動
 - ・多様な他者と協働する学習活動
 - ・異なる考え方が組み合わせさり、よりよい学びを生み出す活動

③ ICT の活用

- ・一人1台タブレット端末活用による効果的な学びの推進
- ・教員と生徒での双方向のコミュニケーションツールの活用
- ・生徒同士での協働作業ツールの活用 など

【目指す生徒像】

自ら考え、他者と協働して粘り強く取り組む生徒

○自ら主体的に考える

→先行き不透明な社会において自ら考え判断し、たくましく生き抜く力を育成する。

○他者との協働

→対面、協働による積極的なコミュニケーションを通じて人間関係を築き、協力してものごとを解決できる力を育成する。

【目指す教師像】

○生徒一人一人の資質・能力を最大限に引き出す教師

○探究心を持ち、生涯学び続ける教師

○チームの一員として組織的・協働的に取り組む教師

○生徒一人一人の学びを最大限に引き出す教師

→「指導の個別化」の実現

生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、ICT を有効に活用し、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行う。

→「学習の個性化」の実現

探究において課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う等、教師が生徒一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、生徒自身の学習が最適となるよう調整する。

○探究心を持ち、生涯学び続ける教師

→「校内研修の充実」

授業研究を通して、タブレット端末の有効的な活用方法の工夫改善に取り組み、教職員の指導力や資質を向上させる。

○チームの一員として組織的・協働的に取り組む教師

→「チーム五中」としての意識を向上させる。

校務分掌等を通じて、自分の役割に責任を持たせ、組織的・協働的に活動できる職場とする。

【本年度学校重点目標】

生徒一人一人に応じた個別最適な学びと協働的な学びの実現
～生徒一人一台タブレット端末の効果的な活用方法の工夫・改善を通して～